

第54事業年度

(令和3年度)

# 事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

# 第54事業年度 事業報告書

(令和3年度)

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

令和3年度における当基金の主な事業内容は、次のとおりである。

## I. 事業の概要について

当年度は、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、穀物相場の高騰や大幅な円安により配合飼料価格は値上りを続け、配合飼料価格差補填金も全四半期において異常補填の発動を含めて交付された。

その異常補填の発動については、公益社団法人配合飼料供給安定機構（安定機構）保有の年度当初の異常補填財源720億円が、第2四半期に係る異常補填交付において財源不足となったため、不足分を各基金（畜産基金・全農基金・商系基金）が通常補填単価に加算（トン当たり590円）し価格差補填金の交付を実施した。

その後、異常補填財源については、農林水産省の令和3年度補正予算により230億円が積み増しされたが、第3四半期に係る異常補填交付においても財源不足となり、安定機構として独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）より返還義務付き補助金150億円を受け入れ、第3四半期及び第4四半期に係る異常補填金の交付に対応した。

なお、当基金業務については、新型コロナウイルス感染防止対策を継続し、総会・理事会・評議員会・監査等をWEB（リモート）方式を用いて開催するとともに、事務局業務についても、時差出勤・一部在宅勤務の体制にて常勤役職員の感染防止に努めた。

### 1. 契約数量について

当年度の当初契約数量は、次表のとおり1,210,152.720トン（前年比93.2%、▲88,892.560トン）であったが、その後、加入生産者の廃業等による解約（22件）及び第4四半期契約における鳥インフルエンザ感染による契約数量の変更（減少）があり1,696.540トンの減少となった。

また、下期における基金間移動により、転出件数12件（全農基金へ3件、商系基金へ9件）、転出数量合計1,096トン（全農基金へ142トン、商系基金へ954トン）となった一方、転入件数は19件（全農基金から4件、商系基金から15件）、転入数量合計1,306トン（全農基金から196トン、商系基金から1,110トン）となり、差し引き契約件数7件の増加、契約数量210.000トンの増加となった。

この結果、当年度の確定契約数量は下表のとおりとなった。

(単位：トン)

	当初契約数量	解約数量	基金間移動数量	確定契約数量
第1四半期	298,239.000	—	—	298,239.000
第2四半期	298,142.610	278.200	—	297,864.410
第3四半期	307,699.390	402.600	+115.000	307,411.790
第4四半期	306,071.720	1,015.740	+95.000	305,150.980
年度計	1,210,152.720	1,696.540	+210.000	1,208,666.180

## 2. 準備財産（通常補填準備財産・異常補填準備財産）について

### (1) 補填積立金

#### ①通常補填積立金

##### ア. 積立金単価

当年度の単位数量当たりの積立金及びその負担額については、令和3年1月21日開催の第309回理事会並びに第231回評議員会において、トン当たり1,200円とし、その負担区分は以下のとおり決議された。

負担区分	通常補填積立金の単価
加入生産者	トン当たり400円
加入会員	トン当たり200円
契約会員	(注) トン当たり600円 (含積増金400円)
計	トン当たり1,200円

「配合飼料価格差補填契約実施基準」に基づく、新たに加入する畜産経営者が納付する別途納付金は、第15次4ヶ年基本契約期間（令和3年度～令和6年度）の初年度であるため徴収は行われなかった。

##### イ. 積み立て状況

配合飼料の急激な値上げに対応し、令和3年4月22日開催の第310回理事会並びに第232回評議員会において業務方法書及び事務処理要領の一部改定（附則事項による追加規定）を決議し、令和3年度第1四半期分及び第2四半期分の通常補填積立金の基金への納入期限を変更し以下のとおりとした。

区 分	第 1 四半期分	第 2 四半期分
1号会員 ⇒ 基金	6月30日（水）	8月31日（金）

なお、第 3 四半期分及び第 4 四半期分の納入期限は規定どおりとした。

**【第 1 四半期】**

第 1 四半期の積立金については、基本積立金部分（トン当たり800円）として納入期限までに238,591,200円を受け入れた。なお、積増金部分（トン当たり400円、119,295,600円）の納入決定については延伸とした。

**【第 2 四半期】**

第 2 四半期の積立金については、基本積立金部分（トン当たり800円）として納入期限までに238,291,528円を受け入れた。なお、積増金部分（トン当たり400円、119,145,764円）の納入決定については延伸とした。

**【第 3 四半期】**

第 3 四半期の積立金については、納入期限（令和 3 年 9 月 30 日）までに基本積立金部分（トン当たり800円）及び積増金部分（トン当たり400円）のトン当たり1,200円の積立金として368,894,148円を受け入れた。

なお、納入延伸とした第 1 四半期の積増金（119,295,600円）及び第 2 四半期の積増金（119,145,764円）については、令和 3 年11月30日を納入期限とし、合計238,441,364円を受け入れた。

**【第 4 四半期】**

第 4 四半期の積立金については、納入期限（令和 3 年12月28日）までに基本積立金部分（トン当たり800円）及び積増金部分（トン当たり400円）のトン当たり1,200円の積立金として366,181,176円を受け入れた。

この結果、当年度の通常補填積立金収入は下表のとおりとなった。

	積立金単価（トン当たり）		積立金額
第1四半期	800円	基本部分のみ	238,591,200円
第2四半期	800円	基本部分のみ	238,291,528円
第3四半期	1,200円	—	368,894,148円
	400円	第1四半期積増分	119,295,600円
	400円	第2四半期積増分	119,145,764円
第4四半期	1,200円	—	366,181,176円
		計	1,450,399,416円

## ②異常補填積立金

当年度において、異常補填積立金の積み立ては無かった。

## (2) 価格差補填金（通常補填金・異常補填）交付

当年度においては、配合飼料価格の急激な値上がりに対応すべく“早期全額一括交付”として、1号会員（全国連）への交付について第1四半期分を令和3年8月2日、第2四半期分を令和3年11月8日に実施した。

また、第2四半期に係る異常補填交付に対し、異常補填財源が不足となったため、不足分（トン当たり590円）を各基金（畜産基金・全農基金・商系基金）において通常補填交付単価に加算し交付した。

なお、この異常補填不足分に対する通常補填金による補完については、第3四半期に係る異常補填交付時に規定算出の異常補填単価に加算（トン当たり567円）し、その分を規定算出の通常補填単価から減算し交付された。

### 【第1四半期】

第1四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり36,835円、基準輸入原料価格がトン当たり26,899円であるとの公益社団法人配合飼料供給安定機構（安定機構）からの報告を受け、業務方法書の規定に則り、第312回理事会並びに第234回評議員会（令和3年7月21日開催 みなし決議・書面審議）において、当四半期に係る価格差補填金をトン当たり9,900円とすることが決議された。

その後、安定機構の規定による異常補填金がトン当たり5,901円交付されることとなったため、通常補填金についてはトン当たり3,999円となり、価格差補填金トン当たり9,900円の交付を8月2日に行った。

当四半期の追加を含めた補填総額は、2,807,913,118円（通常補填金1,134,227,452円、異常補填金1,673,685,666円）となった。

#### 【第2四半期】

第2四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり41,353円、基準輸入原料価格がトン当たり29,128円であるとの安定機構からの報告を受け、業務方法書の規定に則り、第315回理事会並びに第235回評議員会（令和3年10月20日開催）において、当四半期に係る価格差補填金をトン当たり12,200円とすることが決議された。

その後、安定機構の規定による異常補填金の交付（トン当たり7,856円）に当たり、異常補填財源が不足することとなったため、異常補填財源不足分（トン当たり590円）を通常補填財源にて補完することとし、通常補填金トン当たり4,934円、異常補填金トン当たり7,266円にて、価格差補填金トン当たり12,200円の交付を11月8日に行った。

当四半期の追加・返還を含めた補填総額は、3,412,621,052円（通常補填金1,380,154,142円、異常補填金2,032,466,910円）となった。

#### 【第3四半期】

第3四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり41,520円、基準輸入原料価格がトン当たり32,995円であるとの安定機構からの報告を受け、業務方法書の規定に則り、第316回理事会並びに第236回評議員会（令和4年1月21日開催）において、当四半期に係る価格差補填金をトン当たり8,500円とすることが決議された。

その後、安定機構の規定による異常補填金がトン当たり3,576円と算出され、その単価に第2四半期に対応した通常補填財源からの補完額相当のトン当たり567円が加算され、異常補填金トン当たり4,143円、通常補填金トン当たり4,357円にて、価格差補填金トン当たり8,500円の交付を2月15日に行った。

当四半期の追加・返還を含めた補填総額は、2,477,682,408円（通常補填金1,270,031,634円、通常補填金1,207,650,774円）である。

#### 【第4四半期】

第4四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり42,665円、基準輸入原料価格がトン当たり37,417円であるとの安定機構の報告を受け、業務方法書の規定に則り、第317回理事会並びに第237回評議員会（令和4年4月22日開催）において、当四半期に係る価格差補填金単価をトン当たり5,200円とすることが決議された。

その後、安定機構の規定による異常補填金（「特例基準輸入原料価格」対応）がトン当たり1,749円交付されることとなったため、通常補填金についてはトン当たり3,451円となり、価格差補填金トン当たり5,200円の交付を5月13日に行うこととした。

当四半期の補填総額は1,473,698,967円（通常補填金978,026,882円、異常補填金495,672,085円）である。

この結果、当年度の価格差補填金交付額は下表のとおりとなった。

	通常補填金 A	異常補填金 B	補填金 計 A + B	補填率
第1四半期	トン当たり3,999円	トン当たり5,901円	トン当たり9,900円	95.1%
	1,134,227,452円	1,673,685,666円	2,807,913,118円	
第2四半期	トン当たり4,934円	トン当たり7,266円	トン当たり12,200円	93.9%
	1,380,154,142円	2,032,466,910円	3,412,621,052円	
第3四半期	トン当たり4,357円	トン当たり4,143円	トン当たり8,500円	94.8%
	1,270,031,634円	1,207,650,774円	2,477,682,408円	
第4四半期	トン当たり3,451円	トン当たり1,749円	トン当たり5,200円	92.9%
	978,026,882円	495,672,085円	1,473,698,967円	
年度 計	4,762,440,110円	5,409,475,435円	10,171,915,545円	94.2%

(注) ①補填率 = 補填対象数量 ÷ 契約数量 (確定契約数量)

②第1・2・3四半期の各金額は追加・返還を含めた金額

なお、平成29年度の会計処理の変更により、異常価格差補填金は預り金処理となっているため、収支には表示されない。

### (3) 価格差補填金 (通常補填) の期間外交付

#### 【令和2年度第4四半期分】

当該四半期の通常価格差補填金の交付は令和3年5月14日に1号会員 (全国連) へ交付したが、その後の当該四半期の追加請求に対し131,208円 (全酪連55,176円、全開連76,032円) を令和3年6月30日に交付した。

### (4) 基金間移動に伴う生産者持ち分の通常補填財源の移動

#### 【上期】

令和3年度上期の基金間移動において、3基金間における業務方法書に基づき財源移動 (精算) を行った。

当基金における精算としては、全農基金へ1,519,200円、商系基金へ23,104,500円を支払い、財源は24,623,700円のマイナスとなった。

#### 【下期】

令和3年度下期の基金間移動において、3基金間における業務方法書に基づき財源移動 (精算) を行った。

当基金における精算としては、全農基金より54,000円、並びに商系基金より232,000円を受入れ、財源は286,000円のプラスとなった。

この結果、当年度の基金間移動の精算による通常補填財源は24,337,700円のマイナスとなった。

- (5) 準備財産（通常補填準備財産・異常補填準備財産）における運用益  
預金利息28,510円を受け入れた。

## Ⅱ. 基金の運営について

### 1. 法人会計における運用益

預金利息（8,206円）並びに有価証券利息（278円）を計8,484円受け入れた。

### 2. 会費

契約会員（全国連会員）から当初契約数量に対してトン当たり15円の会費（負担金）18,152,290円の納入を受けた。

### 3. 投資有価証券

令和3年7月27日満期となった「利附農林債（1千万円）」は、定期預金（農林中央金庫、預入期間3年）へ同日移行し預け入れた。

## Ⅲ. 役員（理事・評議員）の補欠選任について

### 1. 理事

理事（理事長）砂金甚太郎 氏より令和3年8月31日をもって理事辞任の届け出があり、「役員選任規程」に基づき全国酪農業協同組合連合会から以下の補欠役員候補者の推薦があったので、8月31日開催の第1回臨時総会において当基金理事として選任された。

#### 新理事

全国酪農業協同組合連合会 (熊本県酪農業協同組合連合会)	代表理事会長 <small>くまべ ひろし</small> 隈部 洋
---------------------------------	---------------------------------------

また、9月10日開催の第314回理事会において、後任理事長として隈部 洋 理事が選定された。

なお、定款第26条第2項により、当理事（理事長）の任期は前任者の任期終了時の



令和4年6月開催予定の定時総会の終結の時まで。

## 2. 評議員

評議員 吉原圭輔 氏より令和3年3月31日をもって評議員辞任の届け出があり、「評議員会に関する規程」に基づき農林中央金庫から以下の評議員候補者の推薦があったので、第310回理事会（令和3年4月22日開催）において当基金評議員として選任された。

### 新評議員

農林中央金庫 食農法人営業本部	営業第四部 副部長 <small>のむら ゆうき</small> 野村 勇旗
-----------------	--

なお、「評議員会に関する規程」第3条第3項により、当評議員の任期は前任者の任期終了時の令和4年3月末まで。

## IV. 諸規定の改定について

### 1. 第310回理事会並びに第232回評議員会（令和3年4月22日開催）

「業務方法書」及び「事務処理要領」の一部改定を行った。

〈改定概要〉

- ・令和3年度第1・2四半期分の通常補填積立金の納入期限の延期について
- ・鳥インフルエンザ、並びに豚熱（CSF）感染に伴う令和3年度契約数量年間「0」トン生産者に対する次年度別途納付金の取扱いについて

### 2. 第312回理事会並びに第234回評議員会（令和3年7月21日開催）

「事務処理要領」の一部改定を行った。

〈改定概要〉

- ・補填金の請求（請求の内容と手続き）における請求書の送付日付について

### 3. 第315回理事会並びに第235回評議員会（令和3年10月20日開催）

「業務方法書」の一部改定を行った。

〈改定概要〉

- ・農林水産省の組織再編（令和3年7月1日）による部局名の変更に伴う現行の業務方法書の関連文言の一部改定について

#### V. 総会、理事会・評議員会

総会を次表1、理事会・評議員会を次表2のとおり開催し、各議案について慎重審議の上議決された。

#### VI. 監査・検査について

監査・検査を次表3のとおり実施した。

#### VII. 常任理事会・幹事会について

常任理事会、幹事会を次表4のとおり開催し、所要事項について慎重審議した。

#### VIII. 行政庁への報告事項について

業務運営に必要な資料を整備し、次表5のとおり関係機関に報告し、基金制度の適正な運営を行った。

#### IX. 会員数及び入会預り金の額について

会員の加入・脱退及び入会預り金は次表6のとおりとなった。

表1. 総会（2回）

区 分	年 月 日	内 容
定 時 総 会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館) ※リモート対応	令和3年6月23日	1. 第53事業年度（令和2年度）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、キャッシュ・フロー計算書の承認の件 2. 第54事業年度 令和3年度の理事及び監事の報酬額の件 3. 第54事業年度 令和3年度の会費の額の件
第1回 臨時総会 畜産基金事務所 (酪農会館)	令和3年8月31日	1. 役員の補欠選任の件

表2. 理事会（7回）、評議員会（5回）

区 分	年 月 日	内 容
第310回 理 事 会 第232回 評 議 員 会 ※リモート対応	令和3年4月22日	<p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年度配合飼料価格差補填契約数量について</li> <li>2. 会員の異動について</li> <li>3. 令和3年度通常補填積立金の第1四半期（4－6月期）及び第2四半期（7－9月期）に係る積増金の取扱いについて</li> <li>4. 令和2年度4－3月期の業務執行について</li> </ol> <p><b>【協議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 評議員の委嘱について</li> <li>2. 令和2年度第4四半期（1－3月期）に係る通常補填金の交付について</li> <li>3. 令和3年度第1四半期（4－6月期）、並びに第2四半期（7－9月期）に係る通常補填積立金の積立てについて</li> <li>4. 『鳥インフルエンザ・豚熱（CFS）感染』に係る令和3年度数量契約の期中変更について</li> <li>5. 「業務方法書」及び「事務処理要領」の一部改定について</li> </ol>

区 分	年 月 日	内 容
第311回 理事会 第233回 評議員会 ※リモート対応	令和3年6月3日	<b>【報告事項】</b> 1. 令和2年度第4四半期に係る通常価格差補填金交付実績について <b>【協議事項】</b> 1. 会員の異動（加入）について 2. 第53事業年度（令和2年度）事業報告書（案）の承認について 3. 第53事業年度（令和2年度）財務諸表（案）の承認について 4. 第54事業年度（令和3年度）の理事及び監事の報酬等の額について 5. 第54事業年度（令和3年度）の会費の額について 6. 第54事業年度（令和3年度）事業計画書（案）及び収支予算書（案）の変更について 7. 第54事業年度（令和3年度）の定時総会の開催（開催日、開催方法）について
第312回 理事会 第234回 評議員会 ※書面審議	令和3年7月21日	<b>【報告事項】</b> 1. 令和3年度第3四半期及び第4四半期に係る通常積立金について 2. 令和3年度第1四半期及び第2四半期に係る積増金（トン当たり400円）の納入時期について 3. 令和3年度4－6月期の業務執行について <b>【協議事項】</b> 1. 令和3年度第1四半期（4－6月期）に係る価格差補填金の交付について 2. 「事務処理要領」の一部改定について 3. 保有有価証券（農林債）の満期に伴う取扱いについて 4. 第54事業年度（令和3年度）第1回臨時総会の開催について

区 分	年 月 日	内 容
第313回 理事会 ※書面審議	令和3年8月6日	<b>【協議事項】</b> 1. 第54事業年度（令和3年度）第1回臨時総会の議案における理事の補欠選任候補者について 2. 第54事業年度（令和3年度）第1回臨時総会終結後、後任理事長の選定までの間の代表業務を担う理事について
第314回 理事会 ※書面審議	令和3年9月10日	<b>【協議事項】</b> 1. 理事長の選定について
第315回 理事会 第235回 評議員会 ※リモート対応	令和3年10月20日	<b>【報告事項】</b> 1. 令和3年度第1四半期に係る価格差補填金（通常・異常）の交付実績について 2. 令和3年度4-9月期の業務執行について <b>【協議事項】</b> 1. 令和3年度第2四半期（7-9月期）に係る価格差補填金の交付について 2. 「業務方法書」の一部改定について

区 分	年 月 日	内 容
第316回 理事会 第236回 評議員会 ※リモート対応	令和4年1月21日	<p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年度上期事業概況</li> <li>2. 令和3年度上期監査報告</li> <li>3. 令和3年度第2四半期(7-9月期)に係る価格差補填金(通常・異常)の交付実績</li> <li>4. 令和3年度下期基金間移動に伴う生産者持ち分の財源移管(精算)結果</li> <li>5. 令和3年度第4四半期に係る補填契約数量の変更報告</li> <li>6. 令和3年度4-12月期の業務執行について</li> </ol> <p><b>【協議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員の異動(加入・脱退)について</li> <li>2. 任期満了に伴う評議員の委嘱について</li> <li>3. 令和3年度第3四半期(10-12月期)に係る価格差補填金(通常・異常)の交付について</li> <li>4. 第55事業年度(令和4年度)通常補填積立金単価及び異常補填積立金単価について</li> <li>5. 第55事業年度(令和4年度)別途納付金(単価)について</li> <li>6. 第55事業年度(令和4年度)事業計画書及び収支予算書の承認について</li> <li>7. 第55事業年度(令和4年度)定時総会、理事会等の開催予定について</li> <li>8. 「業務方法書」「事務処理要領」の一部改定について</li> </ol>

表3. 監事監査（2回）、公認会計士監査（1回）、四半期末検査（4回）、月次検査（12回）

区 分	年 月 日	内 容
月次検査（3月）	令和3年4月1日	3月入出金及び残高検査
月次検査（4月）	令和3年5月10日	4月入出金及び残高検査
公認会計士監査	令和3年5月 10日、12日	第53事業年度公認会計士監査
四半期末検査	令和3年5月17日	令和2年度第4四半期末残高証明照合 予算実績対比（全畜連）
監 事 監 査 ※リモート対応	令和3年5月21日	第53事業年度（令和2年度）決算監査
月次検査（5月）	令和3年6月3日	5月入出金及び残高検査
月次検査（6月）	令和3年7月2日	6月入出金及び残高検査
月次検査（7月）	令和3年8月2日	7月入出金及び残高検査
四半期末検査	令和3年8月25日	令和3年度第1四半期末残高証明照合 予算実績対比（全酪連）
月次検査（8月）	令和3年9月1日	8月入出金及び残高検査
月次検査（9月）	令和3年10月5日	9月入出金及び残高検査
月次検査（10月）	令和3年11月4日	10月入出金及び残高検査
四半期末検査	令和3年11月10日	令和3年度第2四半期末残高証明照合 予算実績対比（全開連）
監 事 監 査 ※リモート対応	令和3年11月22日	令和3年度上期監査



区 分	年 月 日	内 容
月次検査（11月）	令和3年12月1日	11月入出金及び残高検査
月次検査（12月）	令和4年1月6日	12月入出金及び残高検査
月次検査（1月）	令和4年2月1日	1月入出金及び残高検査
四半期末検査	令和4年2月28日	令和3年度第3四半期末残高証明照合 予算実績対比（日鶏連）
月次検査（2月）	令和4年3月1日	2月入出金及び残高検査

表4. 常任理事会（7回）、幹事会（6回）

区 分	年 月 日	内 容
第323回 常任理事会 第425回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和3年4月15日	<b>【報告事項】</b> 1. 検査・監査状況 <b>【協議事項】</b> 1. 令和2年第4四半期に係る通常補填金 交付について 2. 令和3年度第1・2四半期に係る積増 金の取扱いについて 3. 令和3年度第1四半期に係る補填金交 付の前払いについて 4. 理事会・評議員会（4月22日開催）の 議題について
第324回 常任理事会 第426回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和3年5月24日	<b>【報告事項】</b> 1. 検査・監査状況 2. 令和2年第4四半期に係る通常価格差 補填金交付実績について <b>【協議事項】</b> 1. 理事会・評議員会（6月3日開催）の 議題について <b>【その他】</b> 1. 令和3年度第1四半期に係る補填金交 付（早期全額一括交付）について
第325回 常任理事会 第427回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館) ※リモート対応	令和3年6月18日	<b>【協議事項】</b> 1. 令和3年度第1四半期に係る配合飼料価 格差補填金の早期全額一括交付について 2. 令和3年度第3四半期及び第4四半期 分の通常補填積立金の積立てについて 3. 令和3年度第1四半期及び第2四半期 の延伸している積増金（トン当たり400 円）の納入について 4. 投資有価証券（利附農林債1千万円） の満期（令和3年7月27日）後の取扱い について

区 分	年 月 日	内 容
第326回 常任理事会 第428回 幹事会 ※書面審議	令和3年7月12日	【報告事項】 1. 検査・監査状況 【協議事項】 1. みなし決議（書面審議）による理事会・評議員会（7月21日開催）の議題について
第327回 常任理事会 （場所） 全酪連役員会議室 （酪農会館）	令和3年7月28日	【協議事項】 1. みなし決議（書面審議）による理事会（8月6日開催）の議題について 2. 「農林水産省（流通飼料対策室）との意見交換会」に関する意見交換
第328回 常任理事会 第429回 幹事会 （場所） 全酪連役員会議室 （酪農会館）	令和3年10月18日	【報告事項】 1. 検査・監査状況 2. 価格差補填金（通常・異常）財源状況について 【協議事項】 1. 理事会・評議員会（10月20日開催）の議題について 【その他】 1. 令和4年1月開催予定の理事会・評議員会の開催日の変更について
第329回 常任理事会 第430回 幹事会 （場所） 全酪連役員会議室 （酪農会館）	令和4年1月19日	【報告事項】 1. 検査・監査状況 2. 価格差補填金（通常・異常）財源状況について 3. 令和3年度第3四半期に係る補填金交付スケジュールについて 4. 異常補填積立金について 【協議事項】 1. 理事会・評議員会（1月21日開催）の議題について

表5. 行政庁への報告・申請等

区 分	年 月 日	内 容
国税庁課税部 審理室長	令和3年6月25日	当基金が行う配合飼料の価格差補填事業に係る資金の令和2年度の収支状況について（報告）
農林水産省 生産局長	令和3年6月25日	上記のとおり国税庁課税部審理室へ当収支状況を報告した旨を通知した。
国税庁 長官	令和3年12月6日	配合飼料安定基金の価格差補填に充てるための負担金（積立金）の必要経費又は損金算入の適用を受ける資金の指定について（申請）
農林水産省 畜産局長	令和3年12月6日	上記の国税庁長官への指定申請に対する副申を要請した。

表6. 会員数及び入会預り金の額

会員の資格		1号会員	2号会員	3号会員	4号会員	計	
会 員 数	令和2年度末現在	4	211	2	71	288	
	増加	加 入		2		2	
	減少	合 併		1			1
		脱 退		1			1
	令和3年度末現在		4	211	2	71	288
入 会 預 り 金 の 額 (千 円)	令和2年度末現在	152,340	6,200	180,000	2,000	340,540	
	増加	加 入		20		20	
	減少	脱 退		10		10	
	令和3年度末現在		152,340	6,210	180,000	2,000	340,550

【会員異動の内容】

1. 加入会員(2会員、入会預り金2口)

会 員 名	会員区分	所属団体	入会預り金口数	加 入 日
三重県酪農農業協同組合	2号会員	全酪連	1	令和3年4月1日
神内ファーム二十一株式会社	4号会員	全畜連	1	令和4年2月10日

2. 脱退会員(1会員、入会預り金1口)

会 員 名	会員区分	所属団体	入会預り金口数	脱 退 日
東金酪農農業協同組合	2号会員	全酪連	1	令和4年1月25日

3. 合併会員

会 員 名		会員区分	所属団体	入会預り金口数	合 併 日
合 併 前	十勝池田町農業協同組合	2号会員	全酪連	2	—
	十勝高島農業協同組合	2号会員	全酪連	1	—
合 併 後	十勝池田町農業協同組合	2号会員	全酪連	3	(令和3年3月1日)

## X. 役員名簿

令和4年3月31日現在

理事監事の別	氏名	出身会員		常勤・非常勤
		名称	役職等	
理事長	隈部 洋	全国酪農業協同組合連合会	代表理事会長	非常勤
副理事長	岡田 一弘	マルイ農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
専務理事	深井 厚夫	全国酪農業協同組合連合会	—	常勤
理事	小谷 英穂	全国酪農業協同組合連合会	常務理事	非常勤
理事	山口 長一	山形県酪農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
理事	草場 哲治	ふくおか県酪農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
理事	村上 進	全国開拓農業協同組合連合会	代表理事専務	非常勤
理事	菊地 文夫	栃木県開拓農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
理事	杉原 健一	日本養鶏農業協同組合連合会	代表理事会長	非常勤
理事	白岩 茂樹	全国畜産農業協同組合連合会	代表理事専務	非常勤
理事	斉藤 功	茨城県畜産農業協同組合連合会	代表理事会長	非常勤
監事	小林 幹男	赤城酪農業協同組合連合会	代表理事副会長	非常勤
監事	坏 幸一	岩手花平農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
以上 理事 11名 監事 2名 計 13名				

Ⅺ. 評議員名簿

令和4年3月31日現在

氏 名	出 身 会 員	
	団 体 名	役 職
高 橋 春 男	標 茶 町 農 業 協 同 組 合	参 事
伊 藤 重 敏	北海道チクレン農業協同組合連合会	代表理事理事長
中 村 益 実	青森県畜産農業協同組合連合会	参 事
黒 川 政 光	酪農とちぎ農業協同組合	専 務 理 事
野 村 勇 旗	農 林 中 央 金 庫	食農法人営業本部 営業第四部副部長
竹 田 実	広島中央養鶏農業協同組合	代表理事組合長
近 藤 昌 伸	岐阜県酪農農業協同組合連合会	常 務 理 事
山 崎 正 典	全国酪農農業協同組合連合会	購買生産指導部長
小宇都 良 則	全国開拓農業協同組合連合会	事業推進部長
鈴 木 崇 之	日本養鶏農業協同組合連合会	事業部事業課長
露 崎 正二郎	全国畜産農業協同組合連合会	事 業 部 長
以 上		11名